

「づくり」に期待

赤間市長が4月15日に再選し、最初の定例会となる6月定例会の初日、市長より「引き続き市政の重責を担わせて頂くことになり、寄せられた期待とその責務の重さを肝に銘じ、嘉麻市をよりよくするため、邁進していきたい。」と施政方針が述べられました。

施政方針の概要

- ・ 公約に掲げた
- ・ 安定した雇用の創出
- ・ 住みたいまちづくりの推進
- ・ 結婚、出産、子育ての更なる支援
- ・ 高齢者が元気で住み続けたいまちづくり
- ・ 人口減少に対応した持続可能なまちづくりを課題とし、施策を講じるとともに、「嘉麻市総合戦略」「嘉麻市第2次総合計画」を基

調とした、嘉麻市に住みたい・住み続けたいと思える「魅力あるまちづくり」を目指し、人口規模に見合った効率的な行財政運営を進める。

当面の取組み

豊かな暮らしを支える活力あるまちづくり

○雇用の拡充に向け、新たな企業誘致の実現と既存企業の規模拡大を促進させるため、用地の確保、奨励措置の検討、PR活動の推進の3点に力点を置き施策を展開する。

○「中小企業振興基本計画」を早期に策定し、地域経済の活性化に向け、総合的かつ計画的に取り組む。



○生産調整廃止の影響を見極め、嘉麻市農業再生協議会と関係機関が連携・協力し、農業従事者の不安解消と米価の安定に努める。

○市内に住居を構える新婚世帯への新居の賃貸借費用及び引っ越し費用の補助により、子育て世帯への施策を充実させ、移住・定住の促進に取り組む。

誰もが健やかに暮らせる福祉のまちづくり

○幼児期の保育・教育の充実及び地域の子ども・子育て支援事業の充実に努める。

○健康寿命の延伸のため、乳幼児から高齢者の誰もが主体的に健康づくりに取組んで頂くとともに、生活習慣病の発症予防と重症化予防事業など、より一層健康づくり事業を推進する。

○安心して子どもを産み育てることができるよう、乳児家庭への全戸訪問や乳幼児健診などの母子保健の推進を図る。

○高齢者が住み慣れた地域で安心して生活が営めるよう、介護保険サービスの充実をはじめ、認知症対策への取り組み等、地域包括ケアシステムの構築に向けた体制の拡充を図る。



赤間市長再選

「魅力あるまち

ふるさとに誇りを持つ教育。文化のまちづくり

○1学級30人以下の少人数指導を継続し、児童生徒一人ひとりの状況を的確に把握しながら、より個に応じた、きめ細やかな指導を行い学力向上を図る。

○すべての市民にプロジェクトKの継続的な支援ができるよう、研修会の実施や指導者の育成を図る。

○校区内の小中学校を一体型校舎に整備するとして嘉麻市学校施設整備基本計画に基づき合併特例債等の有利な財源を最大限活用しながら、教育環境の充実を図る。

○地域住民を「集める」のではなく、自らが「集う」公民館への発展に努める。



自然と共生する安全・安心なまちづくり

○高校等通学補助金事業を継続して実施するとともに、乗務員不足により廃止、減便となる民間バス路線維持を図るため、大型第二種免許取得費用の一部に対し助成を行い、市民

の就業機会の拡大及び乗務員の確保など、ハード、ソフトにわたる総合的な交通対策を進める。

○山田地区におけるまちづくりの中核的な場所にある山田高等学校跡地の活用については、協議会での慎重な審議を継続し、専門コンサルタントの知見も活用しながら活用に関する考え方の基本計画を策定する。



市民と行政による協働のまちづくり

○公共施設のあり方について進行する老朽化や、他団体と比較して著しく多い設置数などに鑑み、集約化や長寿命化を推進し適正配置と将来の財政負担の軽減を図り、今後の大幅な財源不足に対応できる財政構造の基盤強化を図る。

○DV防止とDV被害者支援に向け、庁内の関係部署や庁外との関係機関との連携構築を図る。

○同和問題をはじめとする人権問題の解決に向けた様々な取り組みを行うとともに、人権教育・人権啓発の推進に努める。

○深刻な人口減少が見込まれている今日、同じ生活圏域である飯塚市、嘉麻市、桂川町の2市1町がお互いの自主性を尊重しながら連携し、都市圏への人の流出を抑制するとともに、都市圏からの地方への人の流れを創出して、地方圏の地域活性化を図る。



人権まもるくん と 人権あゆみちゃん